

お地蔵さま

令和3年1月第4週放送

道端でふと見かけ、身近に出会うほとけさまといえは、皆様は、きとお地蔵さまを思い浮かべることでしょう。

お地蔵さまは、正しくは「地蔵菩薩」と呼ばれる「菩薩」様です。菩薩様は、自身の修行の完成を先に延ばしても、より多くの人を先にお悟りの世界に渡すことを誓い、お悟りの手前にとどまり、私たちが救ってくださるほとけさまです。

多くの人により近いところで、私たちの生活を見守りながら、私たちに仏のみ教えをお示しくださっています。本日、一月二十四日は、そのお地蔵さまの縁日です。お地蔵さまを堂内でお祀りする多くの寺院では「^{はつじそう}初地蔵」として、お地蔵さまのご供養や祭典が行われます。

お地蔵さまはそのお名前の由来が示すように、大地が、私たちが始め生きとし生けるものに恵みを与え、地域に^{ごこくほうじょう}五穀豊穰をもたらず姿を菩薩様として体現されております。

お堂の外で、私たちが住む場所を見守る菩薩様として、数多く建立されています。

お地蔵さまが、私たちにもたらず功德はお地蔵さまにより様々です。子育て地蔵として子供の成長を見守ったり、長寿をもたらず延命地蔵として、人々の苦痛を取り除いたり、地域の身近なほとけさまとして、人々の願いを受け止めてくださっています。

それは、お地蔵さまが、そのお名前のごとく、大地が止むことなく豊かな命を育み生きる私たちの生活を支えつづけるように、どの世界どの時代にあっても、その^{あしもと}足許から仏のみ教え

『 禅のこころ - 曹洞宗 - 』

をお伝えくださり、人びとを守りゆくことを決意されていることの現れです。

慈しみのこころを持ち私たちに、優しさ溢れる眼差しを注いでくださる、お地蔵さま。その眼差しを意識しないことも、ままあります。

縁日に因んで、私たちの側から、お地蔵さまに思いを巡らせていただくこともいかがですか？

— 終 —